

会 議 録

会 議 名	平成 30 年度第 1 回野田市文化センター運営審議会
議題及び議題 毎の公開又は 非公開の別	1 会長及び副会長の選出について（公開） 2 平成 30 年度文化会館、櫛のホール小ホール及び勤労青少年ホーム利用状況（9 月末現在）について（公開） 3 平成 30 年度文化会館委託文化事業実施状況（9 月末現在）について（公開） 4 平成 30 年度勤労青少年ホーム事業実施状況について（公開） 5 平成 31 年度文化会館委託文化事業計画（案）について（公開）
日 時	平成 30 年 10 月 23 日（火） 午前 10 時から午前 11 時 15 分まで
場 所	野田市勤労青少年ホーム 2 階 講習室
出席者氏名	委員 有賀 ヒメ子、石原 和子、沖田 多恵子、工藤 達、 久保 周平、須賀田 貞彦、染谷 智子、田口 哲規、 山本 由紀子、佐藤 文則、武田 信一、田中 浩之、 成瀬 猛
	事務局 杉山 一男（生涯学習部長） 宮澤 一弥（生涯学習部次長兼社会教育課長） 大倉 純（社会教育課長補佐兼生涯学習振興係長） 永谷 譲（社会教育課主任主事） 上符 徹（野田公民館長 指定管理者 野田市文化会館・櫛のホール活性化共同体） 竹澤 理津子（文化会館長 指定管理者 野田市文化会館・櫛のホール活性化共同体）
欠席委員氏名	委員 清水 拓司、野口 恭子、石井 徳子
傍 聴 者	無し
議 事	平成 30 年度第 1 回野田市文化センター運営審議会の会議結果（概要）は、次のとおりである。

1 教育長挨拶

佐藤教育長に代わり、杉山生涯学習部長が挨拶を行う。

2 委員等紹介

委員及び職員の紹介を行う。

事務局から会議が成立していることの報告及び会議の公開、会議録作成のための録音機の使用、傍聴者についての説明並びに会議資料の確認を受ける。

3 議事

議題（１）「会長及び副会長の選出について」を議題とする。

委員からの指名推薦により、会長に久保委員を選出する。

久保会長が挨拶を行う。

委員からの指名推薦により、副会長に染谷委員を選出する。

染谷副会長が挨拶を行う。

久保会長 それでは、議題（２）の「平成 30 年度文化会館、樺のホール小ホール及び勤労青少年ホーム利用状況（９月末現在）について」、議題（３）の「平成 30 年度文化会館委託文化事業実地状況（９月末現在）について」、議題（４）「平成 30 年度勤労青少年ホーム事業実施状況について」は、報告事項で関連があるので一括審議とします。事務局より説明をお願いします。

社会教育課長 <資料説明>

久保会長 何か質問は、ございませんか。

成瀬委員 過去の事業について統計を取っていることと思いますが、どのような世代層の人が来ているのかという統計数字はありますか。

社会教育課長補佐 事業を実施した時に来場者に対してアンケートを実施しており、大体の傾向はつかんでいます。

成瀬委員 なぜ質問したかといいますと、最近、近隣市では若い人たちがこぞって来たりしていて、野田市も同じように若い人たちにより住みやすい所というように思っていたのが、文化事業の原点にあると思います。若い人たちも含め世代毎にこのような事業にどれくらいの参加があるのか、興味を持たれているのかという事は、野田市の将来像と照らし合わせてみると、結構大事な指標ではないかと思い、お聴きしました。

社会教育課長補佐 事業を実施する上で、若い人たちに来ていただくことは、非常に難しい状況であります。ですから、若い人に来ていただけるような事業

に、特に力を入れています。

成瀬委員 若い人が来ないというデータがあり、課題が見えているという事ですか。

社会教育課長補佐 都内で開かれている若い人が集まるようなコンサートなどを、野田市で開催することは難しいことでもあります。ですから、こちらで開催可能な若い人向けの事業を探ることが大変なことであり、努力しているところです。

染谷副会長 昨年の東京ゲゲゲイ歌劇団は、若者が集まったという実例があります。

田中委員 アンケートを実施しているとのことですが、事業実施報告で入場者数が出るのは分かりますが、それが意味しているものが分からないので、アンケート結果における年齢構成とか満足度とかが分かれば、現在の課題やその解決策とか将来像が見えて来るので、ただ単に事業を実施する以前の問題として、常にアンケートの分析がどのようになっているかを知りたいと思っています。それが分かれば、事業実施報告の数字の意味も見えてくると思いますので、アンケートの内容や結果について教えてください。

社会教育課長補佐 アンケート内容及び結果については、昨年度第1回の審議会で質問がされまして、第2回の審議会で3事業のアンケート結果をお示ししておりますので、次回の会議で見たいと思います。

久保会長 貴重な意見を頂き、参考になりました。ほかに何かありませんか。

田中委員 勤労青少年ホーム利用室別でロビーとありますが、どのように使われているのでしょうか。

社会教育課長補佐 分岐点というフォークソンググループの集まりがありまして、月に2回土曜日の夜にコンサートを行っています。また、コンサートとは別に、ギターの練習をしに来たりもします。

成瀬委員 大ホールの利用状況についてですが、利用率が結構高くなっていますが、先程はイベント的なものは紹介されていましたが、それ以外に大ホールの利用率を高めているのは、何でしょうか。

社会教育課長補佐 特に7月、8月は利用率が高くなっていますが、小学校、中学校、高等学校の吹奏楽コンクールがあるため、その練習で多く利用されております。

成瀬委員 大ホールは1,000人以上収容しますが、そこで練習の機会を与えているということですか。

社会教育課長補佐 コンクール当日の直前に本番に向けての最終調整のリハーサルをしています。

成瀬委員 それについても、過去にどのように使われていたかのデータがあれ

ば、拝見できますか。

社会教育課長補佐 月別に利用を表にしたものがありますので、見ていただきたいと思います。

成瀬委員 いろいろなアイデアを出すために、ベースになる情報をたくさんいただきたいと思います。

石原委員 我々利用している側は、恐らくこのように利用されているだろうと感じていますが、利用方法がたくさんあって私たちでも分からないところがたくさんあります。

田中委員 5月に利用が唯一低くなっていますが、なぜでしょうか。

社会教育課長補佐 5月は大型の連休があり、このようなときにイベントをやっても人が集まらないことが多く、意外と利用が少なくなっています。

工藤委員 この資料では前年度分までのデータしかないので、指定管理者制度を導入前の2年前、3年前のデータも、多分今話し合っている中では必要ではないかと思いますので、市の直営の時と指定管理になってどう変わったのかというのも検討しても良いのでしょうか。

社会教育課長補佐 文化会館は平成28年度から指定管理者制度を導入しておりますので、市の直営時代のデータとして工事による休館がかなりありましたが、26年度、27年度辺りのデータを見ていただきたいと思います。

田中委員 勤労青少年ホームは、イベントなどの最初から固定されているもの以外に、ふらっと立ち寄ることなど自由な立ち寄りとは可ですか。また、イベント以外にも利用してもらう呼び掛けを、市民にしたりしないのでしょうか。

社会教育課長 勤労青少年ホームは、昭和40年頃の法律に基づいた勤労青少年のための交流の場としての施設でありますので、今、言われた使い方はこの施設の性格とは合いませんので、図書館であるとか、コミュニティ会館などになるのかと思います。

久保会長 大変貴重な意見を頂き、ありがとうございます。

ほかに何かありませんか。

特にないようですので、議題(2)の「平成30年度文化会館、櫂のホール小ホール及び勤労青少年ホーム利用状況(9月末現在)について」、議題(3)の「平成30年度文化会館委託文化事業実施状況(9月末現在)について」、議題(4)の「平成30年度勤労青少年ホーム事業実施状況について」は、報告事項ですので了承願います。次に議題(5)の「平成31年度文化会館委託文化事業計画(案)について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

久保会長 何か質問は、ございませんか。

成瀬委員 理解の仕方が違っていたら訂正していただきたいが、鑑賞型事業、普及型事業、参加型事業の説明がありましたが、鑑賞型というのはいわゆる興行収入を目的に開催されるということで良いのでしょうか。

社会教育課長補佐 興行収入というと語弊がありますが、若干の収益は確保するというので、その収益で普及型事業や参加型事業の収益の上がない事業を補填し、全体でプラス・マイナス・ゼロになるのが、理想であると考えています。

成瀬委員 事業を運営するために、赤字経営にならないように収益のある事業とそうでない事業を組み合わせるバランスを取っているということでしょうか。そうすると鑑賞型の場合は、入場料金はそれから算出されて、決まってくるということでしょうか。

社会教育課長補佐 そのようなことにもなりますが、公演によっては入場料金の指定をされる場合もあります。

成瀬委員 これは直営事業ではなく、委託事業になるのですね。

社会教育課長補佐 そのとおりです。

成瀬委員 鑑賞型、普及型、参加型すべて委託事業ですね。

社会教育課長補佐 全事業とも指定管理者の委託事業です。

成瀬委員 そうすると、野田市として指定管理者の事業計画の内容を承認しているということでしょうか。今日のこの場もそうですね。

社会教育課長補佐 そのとおりです。

田中委員 委託文化事業計画ですが、どのようにしてこの計画を立てたのかが気になっています。先程、アンケートの話がありましたが、アンケートで芳しくない結果でも、基本的な事業の枠組みがあって、それに当てはめたりしているのでしょうか。

社会教育課長 事業計画には、ある程度の継続性が必要となりますので、ただわいわいやれば良いということでもありませんし、良質な文化を提供することで、全体の底上げを図ることが根底にあります。これには差し出すものがないとできないこともありますので、鑑賞型ということで若干の収益を見つつ、普及型、参加型事業を行っています。これまでの経験値の中で料金設定などをやっていますが、実際にアンケートでは料金が高いなどの意見もあったりもするので、公演の費用と入場料収入を秤にかけながら、計画しています。

田中委員 文化的という所で、文化的の定義がいろいろあると思いますが、どのような意味をもって文化事業計画を立てたのでしょうか。

社会教育課長 文化的というと高尚という部分が出てくるような気がしますが、

一方的にこちらから発信しても、来ていただけなかったらどうにもならないし、文化とは捉え方によっては非常に意味が広いので、どこが文化だと感じる人もいるかもしれませんが、我々としては鑑賞型、普及型、参加型をやりながら、全体の底上げを図っていきたいと考えているところです。

成瀬委員 有効な文化事業を取り込んでやるのは大前提だと思いますが、有効な文化事業を選定する際にどのような形で選定しているのでしょうか。例えば、こちらから一方的にやるのではなく、文化会館を使っのイベントを広く募集したりして選んでいるのでしょうか。

社会教育課長補佐 事業によっては市民の方から持ち込まれるものもあります。事業の趣旨に共感できるものであれば、文化事業として取り上げることもあります。

成瀬委員 野田市民の文化レベルを上げていくということで、このようなことが結果として想定されているのであれば、広く市民の意見を反映してこのようなことをやるのも、市民自身がこういう事業をやりたいからというのを受けてやることも必要だと思います。

社会教育課長 市民の方自らがこういう事業をやりたいということであれば、市民の方自らが場所を借りて行うのは当然可能です。そういう中から意見を聴いて、こちらでできるものがあればという場合になります。

成瀬委員 確かにいろいろな方が利用しているので、そちらでやれば良いのではないかということになりますが、野田市民の意見が入るところがあっても良いのかなと考えます。

沖田委員 私たちの団体でも事業を行ってきましたが、公演の費用が気になるところです。この審議会は初めての出席になりますが、事業のおよその金額については出されないものなののでしょうか。事業計画案で予算案ではないので、ここで審議することではないのかもしれませんが、大体どれくらいの枠で運用していて、その中で高いもの有り、安いもの有りを選んでいいのかと思います。事業案だけ出されてもいくらかの規模のものであるのか分からないので、大まかなもので構わないので事業の金額を示してほしいと思います。

久保会長 これからそのようなものも出していただくと、参考になって良いと思います。

社会教育課長 今、沖田委員御指摘の計画案ですが、ほかのものを見たときに収支が出てくるのが一般的です。この事業に要する費用について、次回の審議会でお示ししたいと考えます。

久保会長 次回の審議会、詳しいことが報告されるそうです。

ほかに何か、質問はございませんか。

特にないようでしたら、議題（５）の「平成 31 年度文化会館委託文化事業計画（案）について」については、事務局案のとおり、御承認願います。そのほかに何かございませんか。

須賀田委員 いきいきクラブで文化会館を利用する立場から話をさせていただきますが、私たちは高齢者の生きがいづくりや仲間づくりとして、年 2 回程文化会館を利用しています。8 月に芸能大会があり、各クラブで歌やコーラス、演芸、踊り、ダンスなどいろいろなものを披露し、競いました。今年も 600 人くらい来場しました。利用している中で、文化会館から大きな団体については駐車場が混むので、臨時駐車場を借りてほしいと言われました。今回は柳沢にある駐車場を利用させていただき、駐車場整理員を 2、3 人配置するように言われました。実際に臨時駐車場をお借りしましたが、高齢者では駐車場から文化会館まで歩くのは大変なので、結局臨時駐車場を利用した人はいませんでした。文化会館のほかの施設利用者についても同様に臨時駐車場を用意するようにしているのか教えてください。また、11 月にもカラオケ大会があり、文化会館から同じことを言われています。このようなことが、来年、再来年と続くのであるのか、今後の見通しを教えてください。私たちの団体は皆高齢者なので、今自動車に乗る人が 10 人、20 人に 1 人で、多くの方は家族に送ってもらっています。600 人来場しても、車を運転して来る人が少ないのに、臨時駐車場を借りるように言われています。

社会教育課長補佐 駐車場については、市の施設すべて共同で使用していますので、平日にホールで催し物があると車が溢れてしまうといったことがしばしばあります。そのような理由で、臨時駐車場をお借りいただいているわけですが、今後は事案毎に検討する必要があるのかとも考えます。

社会教育課長 駐車場については難しい問題でして、野田市の場合は駐車場を無料で開放していますので、有料の他市に比べ非常に混んでいます。市役所駐車場を合わせると 300 台以上の容量がありますが、文化会館が 1,226 の客席数なので、皆が車で来ると収容できないのは見えています。最終的に、無料のものをどうするかということも含めて考えないといけないので、少し難しい話であることは分かります。実際に駐車場を借りるといっても、近くにはその場所がありません。以前は、道路向かいの空き地を借りることができましたが、今は借りられません。今は、お話に出ました青少年センター辺りの場所しかないのですが、その中で何とかやり繰りして行かないと、他の利用者に迷惑をかけてしまいます。これは一団体だけの問題ではなく、全体の問題として考えていかなければならないと考えております。そんなこともあって、今すぐには具体的な解決策を見つけ出すことができませんので、文化会館の催しものがある時には、臨時駐車場を借りてくださいとご案内している

が現状です。

須賀田委員 実際に臨時駐車場を借りたときに、利用者はゼロでした。遠いところに駐車場を借りても、高齢者や障がい者では利用しないのが現実です。

久保会長 特に駐車場の件は、我々もお借りしたりしていろいろとやっていますが、一番の問題です。催し物が始まる前から、そちらが心配になります。駐車場については広い場所が必要となりますので、市の方にもお願いして少しずつでも増えていけば良いと思っています。この件については、これからの課題の一つとさせていただき、また、市の方にもお願いをするという形で、進めさせていただきたいと思います。十分考慮していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

そのほかに何かございませんか。

特にないようなので、以上をもちまして、平成 30 年度第 1 回野田市文化センター運営審議회를閉会します。